

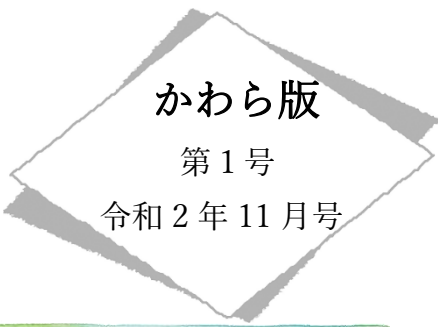
世代を越えてつながり、交流する場へ



風流のはじめ館が開館しました。

10月9日、開館しました。
俳聖・松尾芭蕉を迎えた相楽等躬にちなみ、

須賀川市芭蕉記念館は、「須賀川市風流のはじめ館」として生まれ変わりました。俳句文化を中心とした多様な和文化を通して、世代を越えて、人々が学び愉しみ、つながり、日々を豊かに彩る心のおきどころになる場として開館しました。



かわら版

第1号

令和2年11月号

施設概要

所在地 須賀川市本町81番地4
開館時間 午前9時～午後10時
(日曜日、土曜日)
休日は午前9時～午後8時
休館日 火曜日
(祝日の場合は翌日以降の平日)、
年未年始(12/29～1/3)

オープンギャラリー
各種文化団体や学生、子供たちの作品を紹介し、新しい知識や価値に出会い、学ぶための空間です。



文化伝承の間
芭蕉ゆかりの資料や相楽等躬、須賀川の俳人たちに関する資料を季節に合わせて紹介しています。



※閉館時間 午後5時

施設のこと



郷学の間1・2
文化を学ぶスペースとして勉強会、ワークショップ、講演などを開催します。IHコンロも備えたキッチンも備えています。

花かつみの間 8畳
花栗の間 8畳
白牡丹の間 16畳
和室は、空間の趣がそれぞれ違い、活動に応じ、使い分けてご利用になれます。



四季彩の庭
四季のうつろいの中でさまざまな表情を感じることができる庭園

ロゴマーク
笠がモチーフに傘の網目は五七五です。言葉あそびを連想させます。

金木犀
相楽家が代々見守ってきた施設のシンボルツリーです。花言葉は「謙虚」「初恋」「気高い人」10月にはひかえめな小さな花をつけ、甘い香りがまちじゅうを包み込みます。
坂町や木犀の香に向ふ風 多代女





こども和文藝塾 11月

季節のやさしい和菓子づくりと昔話



すかがわ昔話の会の安田きよ子さんを講師に家庭でもできる和菓子（りんご・さつまいも大福）づくりをし、昔話を聞きながら、季節の和文藝に親しみました。



和菓子

季節の行事やお祝い事、おやつとしても、日本人の暮らしや文化に根ざした文化です。

こども和文藝塾

和文藝を楽しく、分かりやすく、子どもたちや親子に広める教室です。



すかがわ大人塾 12月の予定

第1回「風流の俳句教室」に続いての「すかがわ大人塾 第2回」は、「茶道」です。

すかがわ大人塾 はじめての茶道

12月4日(日) 10:00-12:00

参加無料

定員10名

申込期間 11月27日(日)から12月1日(日)まで

申込先 須賀川市風流のはじめ館

申込費 0円

申込方法 電話またはメールにて

申込先 須賀川市風流のはじめ館

申込費 0円

申込方法 電話またはメールにて



茶道

おもてなしを受けながら四季折々の時間を楽しむ日本の伝統文化です。

すかがわ大人塾

“和ごと”を学び、日常を愉しむおとなのための教室です。



収蔵品の紹介



軸装

鍋物に火のまわり来し時雨かな 鈴木 真砂女

鈴木 真砂女

昭和期の女流俳人 千葉県鴨川生まれ 吉行淳之介、川端康成ら多くの作家や俳人の応援で銀座に料理屋「卯波」を営み「女将俳人」として生涯を過ごす須賀川に度々来遊

◎文化伝承の間では、さまざまな作品を細やかに季節に合わせた作品を紹介しています。



12月 言の葉

すす 煤はらい

新年の神様である「年神様」をお正月に迎えるために、一年分の汚れを落とす大掃除のことです。



しわす 師走

陰暦12月の古称です。諸説ありますが、師は僧のことで、「師匠の僧がお経をあげるために東西をはせる忙しい月」が由来といわれています。

七十二候

さくふうはをほらう 朔風葉を払う

朔風とは北風、木枯らしのことをいいます。冷たい北風が木の葉を落としていく頃です。



俳句ポスト 投句募集

募集期間 通年
選句会 年2回(8月 2月)
部門 一般の部・子どもの部
各賞 学校の部
牡丹賞・赤松賞・翡翠賞・等躬賞

芭蕉記念館では、平成28年よりかわら版を発行していましたが、今月より【風流のはじめ館】として、俳句や様々な和文藝をやさしく紹介していきます。